

第33回 ビジネス日本語研究会 プロジェクト型学習(PBL)への挑戦 ～海外と国内の事例から～

2022年6月11日13:00～17:00（日本時間）
オンライン開催

近年、プロジェクト型学習(以下、PBL)は、企業研修から小学校教育にいたるまでその導入が推奨され、実践報告も増えています。ビジネス日本語教育では2006年のアジア人材資金構想策定の折、PBLによるBJ教育が推奨され教育実践が行われはじめました。今回は、海外と国内の最新のPBL実践例からPBLで育てられたものを紹介、また、PBLでみえた「日本語でビジネスをする/ビジネス日本語を学ぶ」意義なども踏まえ、参加者それぞれの現場でどのような実践につながられるか話し合ってみたいと思います。ウィズコロナ、ポストコロナの時代、日本語を使って仕事をする外国人が増え、定着していくためにも、PBLのインパクトを考えてみたいと思います。

担当：堀井恵子(元武蔵野大学)・浅海一郎(内定ブリッジ株式会社)・ウォーカー泉(シンガポール国立大学)・村澤慶昭(武蔵野大学)

- 13:00 総会（会員のみ）
- 13:30 開会：趣旨説明・話題提供（堀井）これからのプロジェクト型学習にむけて～ビジネス日本語教育におけるPBLの意義と課題～
- 13:50 海外の実践例（ウォーカー）
・企業訪問プロジェクト・企業セミナープロジェクト
- 14:40 国内の実践例（村澤）
・大学院教育におけるPBLの実践例
- 15:20 パネルディスカッション
進行（堀井）・指定質問（浅海）・パネリスト（ウォーカー・村澤）
- 16:00 グループディスカッション
各現場でのプロジェクト型学習の実践の共有や今後の可能性
⇒ 全体共有・意見交換
- 16:45 まとめ、諸報告：閉会

[お申込はこちら](#)



- 会 員：無料
- 非会員：入会希望者…年会費2,000円
一般参加者…参加費1,000円

多くの皆様のご参加と
積極的な意見交換を
楽しみにしています。



ビジネス日本語研究会
Society for Business Japanese Research

